※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	実教出版「歴史総合」(歴総 703)						
副教材等	帝国書院「明解　歴史総合図説　シンフォニア」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①単なる暗記に終わるのではなく、歴史的な流れを大切にし、事件が起こった原因や背景、その結果による世界の変化を理解する。
②歴史を過去のものではなく、現在のものとするため、主要な人物について、できうる限り、残した言葉や生き様を紹介する。
③歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
④歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題 を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通 して涵養される日本国民としての自覚， 我かんが国の歴史に対する愛情，他国や 他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	序章 歴史の扉	○歴史と私たち ○歴史の特質と資料	a:私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 b:複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート
	第１編 近代化と私たち 第１章 「近代化への胎動」	○ヨーロッパの海外進出と市民社会 ○清の繁栄 ○江戸時代の社会と生活 ○東アジア諸国間の貿易	a:18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 b:諸資料から 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:近代化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。			
	第２章 「欧米の市民革命と国民国家の形成」	○イギリス産業革命 ○アメリカ独立革命 ○フランス革命とナポレオン ○ウィーン体制 ○1848 年の革命 ○イタリア・ドイツの統一 ○東方問題と 19 世紀のロシア ○アメリカの発展と分裂 ○世界市場の形成	a:産業革命の進展と世界市場の形成，18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b:諸資料から政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。			

	第3章 「アジアの変容と日本の近代化」	○イスラーム世界の改革と再編 ○南・東南アジアの改革と再編 ○アヘン戦争 ○ゆらぐ幕藩体制と開国 ○幕末政局と社会変動 ○新政府の成立と諸改革 ○富国強兵と文明開化 ○近代的な国際関係と国境・領土の画定 ○自由民権運動の高まり ○立憲国家の成立	a:日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定の経緯などを理解し，18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成の理解を深めている。 b:諸資料からアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
2	第4章 「帝国主義の時代」	○帝国主義と世界分割 ○日清戦争 ○日露戦争と韓国併合 ○日本の産業革命と社会問題 ○アジア諸民族の独立運動・立憲革命	a:列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを諸資料から理解し，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について理解を深めている。 b:帝国主義政策の特徴,列強間の関係の変容などを諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート
	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 「第一次世界大戦と大衆社会」	○緊迫する国際関係と第一次世界大戦 ○ロシア革命とシベリア出兵 ○大戦景気と米騒動 ○ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ○アジアの民族運動 ○戦間期の欧米 ○社会運動と普通選挙の実現 ○政党内閣の時代	a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立の経緯を知り，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 b:第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴や戦後の変化などを多面的・多角的に考察し，表現している c: 第一次世界大戦期の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。			

	第6章 「経済危機と第二次世界大戦」	○世界恐慌 ○ファシズムの時代 ○満州事変と軍部の台頭 ○日中戦争 ○第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 ○戦争と民衆 ○敗戦 ○国際連合と戦後世界 ○戦後と占領の始まり ○民主化と日本国憲法 ○冷戦の開始 ○朝鮮戦争と日本	a:国際協調体制の動揺，第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などの一連の流れについて諸資料を読み取り，第二次世界大戦勃発から戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:諸資料から第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとし，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
3	第3編 グローバル化と私たち 第7章 「冷戦と脱植民地化」	○冷戦対立の推移 ○植民地の独立と第三世界の出現 ○米ソ両陣営の動揺 ○日本の国際社会復帰と高度経済成長	a:脱植民地化と冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを理解し、国際政治の変容の過程について理解を深めている。 b:諸資料から日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。 c:第二次世界大戦後の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート

	第８章 「多極化する世界」	○石油危機と世界経済 ○緊張緩和から冷戦の終結 ○地域協力の進展 ○日本の経済大国化	a:石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。 b:諸資料から市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1970～80 年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
	第９章 「グローバル化と現代世界」	○冷戦体制の終結 ○冷戦後の地域課題 ○現代世界の変動 ○グローバルな認識へ	a:冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを知り、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b:冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:冷戦終結後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとし，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度